

学年週刊情報誌 学年通信

48回生版

兵庫県立伊川谷高等学校 48回生

発行所 〒651-2104
神戸市西区伊川谷町長坂 910-5
県立伊川谷高校 印刷室
電話 代表 078-974-5630
FAX 078-974-5631

https://www.249gou-csdlb/whls2/kanadai-hs/

紙面から

5 4 3 2 1

選択科目調査締め切る いろいろやりませう 制服の追加販売でした ピクトグラムは難しい 習うのか？学ぶのか？

兵庫県立伊川谷高等学校 道遙歌(4番)

作詞 矢田野 大
作曲 岡村 健治

冬伊川谷水渠には
凜烈の霜みつれども
あゝ我が友よ運轉の
歴史の流れ君知るや

笑顔・夢 自主協同

3年次選択科目希望調査締め切る!

文理選択という言い決断はないけれど、ちよつと考えるのが3年次の選択科目です。その3年次選択科目の希望調査用紙提出が9月19日(木)に締め切られました。

よい進路を決めていく段階になると、就職や進学、大学短大・専門学校、推薦や一般など、人によって異なる手続きをしていく事になります。



9月18日(水)、6限目のロングホームルーム(略称LHR)はクラスによつて様々でした。ただ、多くのクラスは、『科目選択に関する面談』をした。

いろいろやりませう ロングホームルーム

「みんな、顔伏せて、1番の案が良いと思う人、手を挙げて!」
こういふ多数決の場合、いくつかの案が、これを決め方が使われます(笑)。

「一体何をしているのだろうか??想像力をかき立てられませう。また、別のクラスでは科目選択の最終確認と用紙への記入が行われていた。

制服の追加販売 販売でした

イカ高生活も、もうすぐ折り返し地点です。逆を言えば、まだ半分あるのです。

天性人語48th

何事もそうだが、『発想力』というモノは、とても大切なものである。他人が考えない事、思いつかない事を見つければ、世の中の商売は成り立っている。

お願ひです

「隊長どうしたんですか?モヒカンになってますよ。制り込みも入ってるし...」



STOP! 悪の組織

昔から『悪の組織』は存在しました。その主たる目的は世界征服であり、貯水池に毒を入れようとする(ショックー)、幼稚園のバスを襲撃する(黒十字軍)など、その手口には一定のパターンがありました。

ネットの怖さを 考えよう

SNS恋愛、SNS告白、物心ついたときから普通にネットがあった時代、特別な...



悪の組織

『言葉だけのやり取りで、どれだけ正確に自分の気持ちや伝わる事がありますか?』



前号に続いて! 絵がき課題

今年もイカ高48回生、やりました。夏課題の「担任に1ガキを書こう」で送られてきた作品より学年選考を行い、絵画部門15点を日本郵便主催「手紙作文コンクール」に応募しました。全15作品を2号に限り一挙掲載。力作揃いで今年も期待大です!

伊川谷高等学校
神戸市西区伊川谷町長坂910-5
兵庫県立伊川谷高等学校内
〒651-2104 電話078-974-5630

笑顔・夢・学年通信

「式学年」は兵庫県立伊川谷高校創立48周年の記念すべき年に入学してきた48回生の総称です。生徒の総合的な発達を願って幅広い学習活動を展開しています。笑顔絶えない学年生活を。

作品第2弾

読者のページ

School Teacher @ Voice

ピクトグラムは難しい

ピクトグラム…、それは誰にでも分かりやすく物事を説明するために作られた。見た目では分かるマークである。昨年の東京オリンピック時に日本で本格的に使用された。世界へ広まっていった。しかしまさか、200年もの東京オリンピックの開会式であれ程に再注目されることとは、一体誰が想像できただろう…(吃驚)

ところで、伊川谷高校の正門横の扉にあるピクトグラムを君達は知っているだろうか？左の写真がそれである。これは「緊急避難場所」(吃驚)

「落し穴」に要注意！

ではないだろうか！
 どうだろう、こう聞くと丸が落とし穴(もしくはマホールの穴)にしか見えなくなってしまうのではないかな？一度、直に確認してみよう！(笑)



正門横のピクトグラム

【ちょっと豆知識】
 このピクトグラムのプレートは反射板で作られている。またマーク自体も蓄光素材を使用し、暗くなった時の視認性を良くするなど緊急避難場所としてふさわしい素材となっているのだ。

2年あれこれ

▼時間割変更 9月19日は木曜日ですという事は、「あと1日頑張ったら3連休やん！」

▼「公共※」のついでに「ん？」

何の事かと聞いてみると、週2コマの公共の授業が、時間割変更で金曜日の1・3限目になっているとの事。「そりや大変だあ」

3連休前の一つの試験でしよ(苦笑)

※【用語解説】公共
 昭和や平成にはなかった、

2022年度にできた新しい科目。地理歴史・公民科に属し、法・政治・経済を中心とした幅広いテーマを扱う。全員必修の科目である。

▼回収品 職員室の2年生の先生達の居る区画の端に、たくさん「回収物」が置かれています。

①あちこちに放置されていた体育館シューズを集めたもの

②体育の後、置きっぱなしにされていたジャージ

③昇降口の使われていないロッカー内に突っ込まれていた教科書類(おそろく突っ込んだ本人は忘れてる)

知つていて！ ヘルプマーク

視覚障害や妊娠後期の人など、見知らぬ人が必要という事が分かる場合もある。聴覚障害や妊娠初期、人工関節使用者など見ただけではその障害が判りにくい場合もある。この様な、見ただけで「助けが必要」と判りにくい場合、その当事者達は人目を気にして優先座席の使用をためらうこともある。

「耳マーク」や「マタニティマーク」など、周りの人に自分の状態を知らせるマークが既に存在している。それらの利用も一つの手段ではあるが、中には「自分の障害に対応したマークがなかったり、障害や病気の詳しい内容を他人に知られたくない」人も居る。そんな人達の為に、詳しい事情抜きで「助けが必要」という事を周りの人に伝えるためのマークとして「ヘルプマーク」が考案された。



れ、利用されている。人間誰しも明かしたくないプライベートがある。「ヘルプマーク」は、可能な限りプライベートを伏せたまま、周りの人に「身体的な事情がある」と察してもらう手段である。このマークを付けている人を見かけたら、察してあげてネ。

④新しくなったロッカーの上には放置されていた教科書類

モノを大切にできない人たちは、自分も大切にされないよ！ 気を付けな！

引き取り手のない回収物



▼ようやく 秋分の日を過ぎて、ようやく涼しさがやってきました。これからまた、外でのランチタイムが増えてくる事でしょう。



▼欲張り ここに1人の欲張りな生徒がいます。どのように欲張りかという点、1人でイスを2脚使っています。自分も「よくばり」

と言っていました。なんか足がうまい事、テトリスの様にハマっているのが面白くて、つい「パシャリ！」



▼気になる点 ここに1枚の写真がある。昼食時の教室を写したモノだ。皆はこの写真を見て、何処が気になる？

・勉強してる人(「飯は食べ終わったのかな?」)

・後ろで笑ってる人

・昼食に夢中な人

・その他

習いのか？ 字のか？

学校は学問を教えるところである。では、学問ではないが、ちょっととした世間の常識や気遣いの、一体どこで学ぶのだろうか？ や、そもそも学ぶモノか？ 自分も気づけよ！ という考えもある。

一つの例を挙げよう。伊川谷高校の校舎にあるトイレは全て洋式である。最新式の便器なので、汚れが付きにくい。しかし、それでも、軟便など粘りがあるウ○チが出た時など、便器にへばりついてしまう事がある。水を流した後にへばりついたウ○チに気づいた時、その場でトイレトベーパーを丸めて拭き取れば、

すぐにウ○チはとれる。しかし、そのまま放置すると、カチコチに固まりブラシを使ってもなかなか取れなくなってしまう。家でトイレ掃除をした事のある者なら、このことについてモノを取らざるを得ない。水を流した後にへばりついたウ○チを拭き取る位の気遣いができる様になる。そういう自然な「気づき」が今、望まれているのだ。



▼気がなつたかな 因みに私(本誌編集長)の気がなつた点はここです。

何処が気がなつたかな



※この弁当のフタに避けてある4本のソーセージはどのかな？ それとも後で食べのお楽しみ用??

五色発見

君たちは知っているかい？ 人類の見方。見方？ 味方？ あれ？ 3気象を抜いたらやっちゃん見ました、誤植を。今年通信55号二面にあるピグモンの用語解説に、その誤植は見えました。

誤植・人間の見方
 正・人間の味方
 誤植発見者は5組のO君です。
 「サイン入り頂戴！」

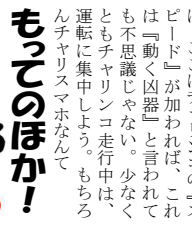
君たちは知っていたのか？ 人類の見方。見方？ 味方？ あれ？ 3気象を抜いたらやっちゃん見ました、誤植を。今年通信55号二面にあるピグモンの用語解説に、その誤植は見えました。

誤植発見報告のO君

君たちは知っていたのか？ 人類の見方。見方？ 味方？ あれ？ 3気象を抜いたらやっちゃん見ました、誤植を。今年通信55号二面にあるピグモンの用語解説に、その誤植は見えました。



▼愚か者！ イヤホン付けてチャリ飛ばすなんて、「目を閉じて全力疾走する」と同じだぞ！ 大体、歩きイヤホンでも集中力が散漫になりがちなの。ここにチャリノコ「スピード」が加われば、これは「動く凶器」と言われても不思議じゃない。少なくともチャリノコ走行中は、運動に集中しよう。もちろんチャリスラモホなんて



▼もつこのほか！



前号でも前々号でも述べましたが、教師だって日々の勉強です。「教える人」↓「学ぶ人」
 そう思っけて構いません。この施設の中にある「IKUNO・多文化ふらっと」に小中高の先生や地域争ボターの方が集まり、勉強会「外国につながる子ども・若者のための国際理解教育」を行いました。様々なワークショップや発表等、これから私たちの身近で確実に起る「多文化社会」に対応するための勉強会をしてきた訳です。昨年皆が学んだ「やさしい日本語」もそのように勉強の一つです。学んできた内容は、そのうち皆に還元しますね。